

来年も、皆でまた会おう！

10月17日、健康増進と地域間の交流を目的とした『第39回上ノ国町高齢者スポーツ大会』が町民体育館で開催され、各地区から合わせて190名の方々が参加しました。大会は、全8種の競技で競い合われ、おなじみのムカデ競争や円盤投げなどのほか、今年初めて加わった脚力が試される追いつけ追い越せスーパーカーリレーなど、各地区一進一退の攻防に会場は大いに盛り上がりつつありました。大会は、体力に定評のある湯ノ岱地区の優勝で幕を閉じ、閉会式では、施設建替のため町民体育館で行われる最後の高齢者スポーツ大会ということもあり、それまで皆さんで健康に気をつけ、皆で40回を迎えましょうと呼び掛けがあり、参加者全体が大きな拍手で応えていました。



秋の火災予防運動 消防団が地域の見回り活動

10月15日、秋の火災予防運動の一環として、上ノ国町消防団による消防車パレードや地域見回り活動が行われ、各分団員や婦人防火クラブ団員の方々が、町内を隅々まで巡回しました。昨年から今年にかけて、町内では大きな被害を生んだ火災や未然に防がれたもののあわやというケースが度々発生しており、決して他人事ではありませぬ。特に、知らず知らずのうちに火災に繋がるケースとして、『長年家具に踏まれて熱を持った電源コード』や『埃が溜まったコンセント』などは、ある日突然発火することもあります。空気が乾燥する冬は特に出火の危険が増しますので、今一度家の様子を確認し、火災の元は無いか確認してみましよう。



スポーツセンター建設工事 着々進む

10月に入り、現在建設中の上ノ国町スポーツセンターの外観がほぼ完成しました。スポーツセンターは老朽化した町民体育館の代替施設として、現在役場庁舎裏に建設中であり、コート広さや設備面の強化が図られるとともに、災害時の避難所としての機能も備えた複合的な施設として設計されています。建物の完成は今年度中で、来年度の外構工事を経て、本格的なオープンが7月頃を予定しており、少年団やクラブ活動、各種大会の拠点として、地域に愛される新たな町民体育館となるべく、今後は内装を中心とした工事が進められていく予定です。



子どもたちのパワーで大豊作！

10月4日、上ノ国小学校の5・6年生による米刈が行われ、春に自分たちが植えた苗の成長を感じながら、実りの収穫を喜んでいました。食育の観点から毎年行われているこの授業ですが、今年も目名地区の田んぼを借りて行われ、代掻きから田植え、そして収穫、給食等の用途を自分たちで考える一連の流れから、食の大切さを肌で感じていく様子でした。この日に収穫された米は、大豊作だった昨年に迫る勢いとのこと、現場で児童たちの指導にあたった同地区で農業を営む菊池和雄さんは、『子どもたちが植えた苗だから、子どもたちと一緒に元気がいい』と豊作の理由を話していました。

